



KIAC
RESIDENCE SELECTION
2022—23

SPA of Narratives

声と語りの 浴場

城崎国際
アートセンター
(KIAC)

↑至竹野

中城
学校

鴻の湯



御所の湯

一の湯



柳の湯



北柳通り

地藏湯



木代山温泉寺

城崎温泉ロープウェイ

山麓駅

湯の里通り

玉橋

南柳通り

大

川

まんだら湯



城崎
文芸館

駅
通り

JR
山陰本線

さとの湯



JR
城崎温泉駅

↑至豊岡

豊岡演劇祭2023のフィナーレを飾る週末、七つの外湯巡りで知られる
関西屈指の名湯・城崎温泉の街はずれ、かつて公共の温泉宿として利用
された城崎国際アートセンター(KIAC)が、第八の「浴場」(=SPA)
へと生まれ変わる!?
古くから文人墨客に愛された城崎で、滞在アーティストたちの「声」と「語り」
(=Narrative)を浴びて、私たちの「物語」を呼び覚ます!

日程
2023年 9/22金 - 9/24日
会場
城崎国際アートセンター
0796-32-3888 / 兵庫県豊岡市城崎町湯島1062

プログラム

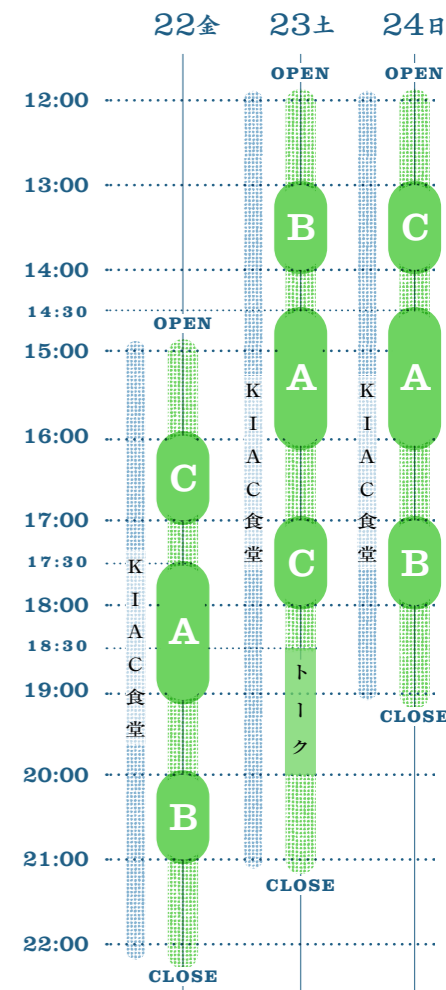
A 『Paradise Lost』
荒木優光 Masamitsu ARAKI

B 『ツル/アンティゴネ』
佐藤朋子 Tomoko SATO

C 『ENCORE-Mer』
ユニ・ホン・シャープ YUNI HONG CHARPE

タイムテーブル

	開場時間	コアタイム 3演目鑑賞可
22金	15時-22時	16時-21時
23土	12時-21時	13時-18時
24日	12時-19時	13時-18時



※23日終演後 ポストパフォーマンストークあり

主催・企画・製作=城崎国際アートセンター(豊岡市)
助成=令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
連携=豊岡演劇祭実行委員会
豊岡アートシーズン2023参加事業

お問合せ=城崎国際アートセンター
0796-32-3888(9:00-17:00 火曜休館) info@kiac.jp



参加事業

グラフィックデザイン=鈴木哲生

KIAC

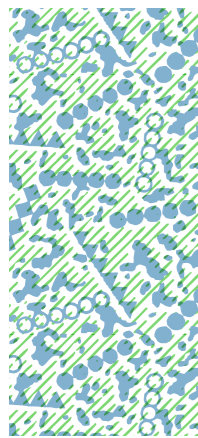
レジデンス・セレクション 2022→23

「SPA of Narratives / 声と語りの浴場」

—湯治のような鑑賞体験—

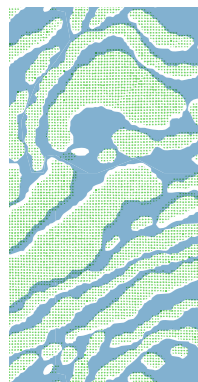
2022年に滞在制作を行ったアーティストの中から、3組のアーティストの作品を豊岡演劇祭2023の会期に合わせて紹介します。滞在制作とは文字通り、アーティストが一定期間、特定の土地に滞在し、リサーチや作品創作といった芸術活動を行うことを言います。

KIACでは、アーティスト・イン・レジデンス（AIR）と呼ばれるこの取り組みを年間通して実施しています。

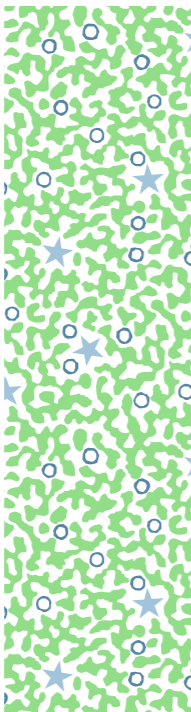


初の試みとなる「KIACレジデンス・セレクション」は、これまでに滞在制作を行ったアーティストの作品発表の機会を創出し、広くその成果を共有することを目的に実施します。紹介する荒木優光、佐藤朋子、ユニ・ホン・シャープという、3名のアーティストは、領域横断的に活動を展開していることに加え、「語られる声」あるいは「語り」そのものを扱うという、ゆるやかな共通項を持っています。

今回、「SPA of Narratives / 声と語りの浴場」と題し、かつては公共の温泉宿・城崎大会議館として利用されたKIACの施設全館を活用して、3作品を連続上演します。さらに、3演目セット券／お食事券ご購入のお客様には、この企画の滞在制作に調理担当として参加している料理家・太田夏来による、アーティスト向けまかない料理も特別に提供いたします。



日々の喧騒を離れ、ゆっくりと温泉につかるように、聞こえてくる声、語られる物語に身をゆだねてみてください。アーティストたちが捉えたこの世界の／私たちが生きている時代の、何らかの響きを耳にすることができるはずです。食事をしたり、感想を話したり、観劇の疲れを癒したりと、まるで湯治のような「声と語りの浴場」をお楽しみください。



入「浴」券(チケット)料金	3演目セット券(※KIAC食堂まかない料理(1食)付き) 鑑賞可能演目 A 荒木優光 B 佐藤朋子 C ユニ・ホン・シャープ	1演目券 鑑賞可能演目 A B C いずれか 1 演目	お食事券 KIAC 食堂 まかない料理(1食)
一般	4,000円	1,500円 (当日+500円)	
U25、シルバー、障害者、但馬地域 在住・在学・在勤	3,000円	1,000円 (当日+500円)	700円
高校生以下	700円	無料	

チケット取扱【電話予約・オンライン予約】 城崎国際アートセンター 0796-32-3888 (9:00-17:00 火曜休館)
https://teket.jp/7289/25400

※U25、シルバー、但馬地域、障害者、高校生以下チケットをお求めのお客様は、当日受付に証明できる書類をお持ちください。
託児サービス(要予約)……………ご希望の方は、9月14日(木)までに城崎国際アートセンターへお電話でお申込みください。
(対象:満1歳~就学前までのお子様) 0796-32-3888 (9:00-17:00 火曜休館)



A 荒木優光 Masamitsu ARAKI 『Paradise Lost』



「トーキングヘッズ」 photo by 前谷開

音を聴くこと。その鑑賞環境を起点に独自の音空間を構築するアーティストの荒木優光が、かつて城崎温泉へ湯治に訪れた作家・志賀直哉と、鼻の手術や心臓の医療検査といった自身の体験を重ね合わせた架空の日記を執筆。特筆に値しない日常とダンスミュージックにおけるビートのBPMをシンクロさせ、会場を人間の欲望と音楽の効用を問う回遊式のウェルネスクラブへと変容させる。

B 佐藤朋子 Tomoko SATO 『ソル／アンティゴネ』



「Song for the Fox, August 2022 Version」 © 蓮沼昌宏

土地や歴史についてのリサーチをもとに、レクチャーの形式を用いた「語り」による芸術実践を行うアーティストの佐藤朋子が、ギリシア悲劇の戯曲『アンティゴネ』を題材に、ツルやコウノトリといった豊岡に息息する動物と人間の関わり、歴史や伝説などについての広範なりサーチをベースに振付家・ダンサーの木村玲奈との協働により開発したレクチャーパフォーマンス。

C ユニ・ホン・シャープ YUNI HONG CHARPE 『ENCORE-Mer』



「ENCORE-Mer」 photo by igaki photo studio

フランスと日本を拠点にパフォーマンス、インスタレーション、映像と多岐にわたる表現活動を展開するアーティストのユニ・ホン・シャープが、日本統治時代の朝鮮半島出身の舞踊家・崔承喜(1911-1969)に関する言葉とダンスのリサーチや海外にルーツを持つ豊岡近郊の方々とのワークショップを経て、翻訳家・平野暁人との協働により創りあげたレクチャーパフォーマンス。

KIAC 食堂



シェフ | 太田夏来
アシスタント | 土田高太郎、前川友萌香
過去に何度もアーティストの滞在制作の調理担当として KIAC に滞在経験のある料理家・太田夏来が、「KIACレジデンス・セレクション2022→23」の滞在期間中も、アーティストへのまかない料理を提供します。今回は特別に公演期間中の3日間のみ、「KIAC食堂」として、

3演目セット券 or お食事券をご購入のお客様にもアーティストと同じまかない料理を提供いたします。演目鑑賞の合間に／前後に、作品の印象に浸ったり、感想をシェアしながら、アーティストたちと一緒に空間でお召し上がください。

太田夏来 | Natsuki OTA 料理家。和食・スリランカ料理を学んだ経験をもとに、出張料理、料理教室やワークショップ、レシピの提供や撮影のスタイリング、イベントの企画、スリランカへのツアーコーディネートなどを行っている。Instagram @nat_ota

コンセプト・ディレクション・サウンドデザイン | 荒木優光
CG / モーションキャプチャー | 松見拓也 サウンドエンジニア | 甲田 徹 テクニカルエンジニア | 脇原大輔
ボーカリスト | 竹岡大志 ダンサー | 花本ゆか (はなもとゆか×マツキモエ)、松木 萌 (はなもとゆか×マツキモエ)、黒田健太 モデル | 諸江翔大朗 (ARCHIVES PAY)
助成 | 公益財団法人セゾン文化財団

荒木優光 | Masamitsu ARAKI 1981年山形県生まれ。シアターピースやインスタレーションなど多岐にわたる作品を発表。主な上演に「サウンドトラックフォーミッドナイト屯」(比叡山山頂駐車場 KYOTO EXPERIMENT、2021年)、「パブリックアドレス - 音場」(Theatre Varia Kunstenfestivaldesarts、2021年)、主な個展に「わたしとゾンビ」(京都市京セラ美術館ザ・トライアングル、2020年)など。2023年度セゾン文化財団セゾン・フェローI。
https://www.masamitsuaraki.com/

テキスト・構成・出演 | 佐藤朋子
振付 | 木村玲奈
協力 | 学校法人瓜生山学園 京都芸術大学〈舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点〉糸口、兵庫県立コウノトリの郷公園
佐藤朋子 | Tomoko SATO 1990年長野県生まれ。2018年東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了。レクチャーの形式を用いた「語り」の芸術実践を行っている。近年の活動に、「TWO PRIVATE ROOMS- 往復朗読」(青柳葉摘と共同、2020-)、「オバケ東京のためのインデックス」(シアターコマンス、2021-)、第14回恵比寿映像祭「スペクタクル後 AFTER THE SPECTACLE」(東京都写真美術館、2022)出品、「公開制作 vol.2 佐藤朋子 狐・鶴・馬」(長野県立美術館、2022)。http://tomokosato.info/

木村玲奈 | Reina KIMURA 振付家・ダンサー。ダンスは誰のために在るのか、ダンスそのもの・ダンス活動・作品・公演の構造を問いながら、創作・作品提示を展開する。また、風土や言葉と身体の関係、人の在り方 / 生き方に興味をもち、国内外様々な土地でリサーチ・創作・上演等を行う。主な振付作品に「6steps」「どこかで生まれて、どこかで暮らす。」「接点」がある。'19-'20 セゾン・フェロー I。'20- 東京郊外に「糸口」という小さな場・拠点を構え、土地や社会と緩やかに繋がりながら、発表だけでなくとまらない実験と交流の場を運営している。https://reinakimura.com

構成・映像編集・出演 | ユニ・ホン・シャープ
翻訳・ドラマトウルク・出演 | 平野暁人
映像出演 (メインキャスト) | ユン・ミュ、草野なつか、カニエ・ナハ サウンド編集・ミキシング | テイトゥアン・デュメニル カメラ | 青柳葉摘、飯岡幸子、草野なつか、小宮知久 写真 | タゴちゃん、長島確、橋本麻希 グラフィックデザイン | 鈴木哲生
協力 | 学校法人瓜生山学園 京都芸術大学〈舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点〉、ICA京都、RAM Association、Centre National Édition Art Image (CNEAI=) 助成 | 一般財団法人川村文化芸術振興財団、Arts Aid KYOTO、Direction régionale des Affaires culturelles d' Île-de-France - Ministère de la Culture (AIC2022) スタジオ助成 | CND, Centre national de la danse
ユニ・ホン・シャープ | YUNI HONG CHARPE アーティスト。東京都生まれ。最近の作品に、パフォーマンス『ENCORE-Mer』、映像インスタレーション『RÉPÊTE』など。2023年度 ACC、ACYフェロー。https://www.yunihong.net/

平野暁人 | Akihito HIRANO 翻訳家 / 通訳者 (日仏伊)。近年はパフォーマンスとして国内外の舞台に出演しつつある。主な訳書に「純粋な人間たち」(英治出版)、「隣人ヒトラー」(岩波書店)、「「ひとりではいられない」症候群」(講談社)他。

22金 20:00-21:00
23土 13:00-14:00
24日 17:00-18:00
※上演時間約60分(予定)

22金 16:00-17:00
23土 17:00-18:00
24日 13:00-14:00
※上演時間約60分(予定)